

注目の学園ニュース

CJホットピックス

大学・短期大学の入学式には「筑紫女学園フィルハーモニー管弦楽団」が歓迎演奏。

1

学園

各学校合わせて1560名の新生を迎え、入学式・入園式を執り行いました

式典を生き活きと華やかに支える筑女生たち

4月5日に大学院・大学・短期大学部、4月7日に中学・高等学校で、若原道昭新学長、中島利昭新校長をお迎えして初めての入学式が挙行されました。さらに幼稚園では、4月12日に入園式が挙行され、合計1560名の新生が筑紫女学園の各学校に入園しました。

大学・短期大学部では、ガムランサークルやフィルハーモニー管弦楽団による演奏、中学・高等学校では、聖歌隊による歌が、式典を華やかに盛り上げ、また、昨年に引き続き、東日本大震災の支援のため、震災ボランティア参加学生や仏教委員会を中心に募金活動も実施されました。

新生は、これから始まる学校生活に期待を膨らませるとともに、生き活きと式典を支える上級生の姿に、自分自身の将来像を重ね合わせたことでしょう。



大学・短期大学の入学式会場ロビーではガムランサークルがオリエンタルムードを醸し出す演奏を。

入学式だけではなく、学園内で開催されている様々なイベントにおいて、学生や生徒たちは、表方、裏方と幅広くサポート活動をしています。大学・短期大学部では、学生スタッフを中心となって、オーブンキャンパスの会場設営や高校生を案内するアシスタントをしています。中学・高等学校でも、合格者招集日の受付や、学校紹介・見学会のお茶の提供、案内などで活躍し、参加された方からは「在学生のスタッフの方々が、とても親切、丁寧な風になれたらいいなと思います」とのご意見もいただきました。



中学・高等学校では聖歌隊が歌を披露。

学園で開催される式典やイベントは、学生、生徒、園児の成長の場でもあります。勉強だけではなく、日々の活動の中で、「相手が喜んでくれた」「人の役に立った」「笑顔で接すれば笑顔で返してくれる」といったことを体験し、自らがその喜びに気づいたときに、子どもたちは成長します。そして、自ら考え、判断し、行動していくことへとつながっていきます。

ぜひ、式典やイベントの際には、キラキラした笑顔で頑張っている筑女生の姿を見つけてください。

2

幼稚園

「響流の森」がますます充実します

保護者の方々と一緒に作る、子どもたちの遊び場づくり

幼稚園に隣接する「響流（こゝる）の森」は、昨年度、遊歩道や危険防止柵などの整備が完了し、いよいよ本格的に「遊び・体験し・学ぶ」活動が始まっています。「保護者の方々と一緒に、もつと楽しく遊び、体験し、学ぶ」との願いから、保護者と園児を対象にした見学会を実施したり、森の中に設置する遊具のアイデアを募集しました。お寄せいただいたたくさんの方々のアイデアの中から、今年度は①木々の名札作り、②ツリーハウス作り、③ロープ等を使った遊具作り、④入り口付近の看板作りの4つに絞り、実行することになりました。

木々の名札作りは、その前準備として、本学園短期大学部の佐々木浩先生や中学・高等学校生物部の生徒さんのご協力のもと、植生調査を実施。ツリーハウス作りは、保護者の設計士の方のご協力もいただくことができ、もうすぐ設置という段階にまで来ています。

ロープを使った遊具作りは、落下防止の器具をつけた保護者の方が木に登り、ロープを結びつけ、何種類もの遊具が出来上がりました。看板作りは、出入り口に、園児たちの作品も使った楽しい看板ができています。多くの方々のご協力により園児たちが遊び、体験し、学ぶ場が少しずつ形になってきました。引き続き、活動を続けていきますので、これからもぜひご協力をお願いいたします。

